

その他の建築工事業におけるその他の環境等を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11～12	新築工事にて、屋内で作業を行った際に出たゴミを外へ出しに行き、再び屋内に入ろうとした玄関先で滑って転倒をし、左わき腹を打った怪我を負った。	65～9	1
1	15～16	資材センター内で、加工ドーム内から戸外へ資材片付作業に出たところ、ドーム出入り口の少し勾配のところ、凍結により滑って足元をとられ、左側に倒れた。その時に左手が地面につき、左殿部を強打した。	69～99	50
1	11～12	仮設足場に取り付けてある転落飛散防止ネットに、突発的な強風を受けた。強風が仮設足場と壁面の間に入り込み、風圧をモロに受け、支えきれずに仮設足場西面より倒壊が始まった。	55～9	1
1	10～11	解体工事現場にて工事車両搬入の為現場の氷を壊しているときに転倒し右手差し指を負傷した。	24	—
1	9～10	当日、現場の打ち合わせにて坂道を歩行していたところ、雪で足を滑らせてしまい誤って転倒し、右足首を捻り骨折したものである。	53～49	30
7	10～11	現場の南側足場にて、下から2段目でアスベスト除去作業中、約2cmの蜂が飛んできて、追い払うときに、右手で持っていたカッタースクレイパーが、左手の手の甲に当たり負傷した。	22～9	1
11	14～15	山沿いの道路の麓に隣接した所に解体する予定の鉄骨倉庫、ビニールハウスが建っており、前に降った雪が溶け、その後寒さが続いたこともあり、地面が凍結し氷が張り付き滑り易くなっていた。現場作業の移動中に足元が滑り、背中と腰を地面に	58～9	1

		打ちつけ負傷した。		
11	12~ 13	家の外壁の梁を鉄板で巻く板金工事をしている、昼休憩で、作業を止め、車に行くのに、その家で飼っていた犬がいきなり飛びついてきて、右手の手首を噛まれ負傷した。挑発はしていない。	42	1 ~ 9
12	11~12	牧場の牛舎新築工事現場で足場の片付けをしている時、足元が滑り足場とともに地面に転び、左腰・右腕を地面に強く打ち負傷した。	42	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html